

平成 29 年度「第 5 回ケアラーズ交流会」開催報告

【日時】平成 30 年 2 月 17 日（土） 14：00～16：00

【場所】集い場 木かげ（住吉商店街）

【参加】ケアラー 6 名、ケアラー経験者 2 名、サポーター 2 名
淵地域包括支援センター 1 名
医歯薬学総合研究科 井口教授
ダイバーシティ推進センター 内野介護コンシェルジュ

第 5 回ケアラーズ交流会の会場は前回同様、人の流れが多い住吉商店街地区で地域の人
が気軽に集える場（地域の縁側）作りに取り組んでおられる「集い場 木かげ」をお借りし
ました。

最初に医療法人厚生会 道ノ尾病院 作業療法士 上村真紀氏より「ケアラーに寄り添
う」と題して、認知症のある人の「その行動」の理由について事例を交えながら詳しく説明
されました。また、家族の気持ちや、認知症のある人の残された健康なところについても話
していただき、困ったときに周りを見ると支援してくれる人がたくさんいるから、声をあげ
ることが大事であること、全ての人々が認知症になる覚悟をして生活すると、認知症の人や介
護する家族にもっと優しく対応できると思うと締めくくられました。13 名の聴講者が熱心
に耳を傾け、多くの質問にもお答えいただきました。その後、参加者が自由に話をしたり、
相談するような内容で進めました。

今回は 6 名のケアラーが参加され、以前介護を経験された方も参加されました。また、淵
地域包括支援センターから、専門家にご協力いただきました。ケアラーのみなさんは、日々
の介護を一生懸命にされており、それぞれの悩みや思いをじっくりお話できる機会となり
ました。専門職には専門的な立場から、助言をいただきました。



アンケートでは、参加された全ての方が「参加して大変よかった」「よかった」と回答さ

れ、自由記述欄には「同じように介護している人のお話が聞けて良かったです」「いろいろな介護をしているひとの話を聞き、とても参考になりました」「自分の体験を振り返り同じ想いを共有できた」等の感想やご意見がありました。ご協力いただきましたみなさま、ありがとうございました。

長崎大学ダイバーシティ推進センターは、介護者が孤立することなく、介護者とともに社会参加できるよう、また介護を1人で抱え込まないように、介護者が持つお互いの悩みや解決策の情報交換の場を作り、地域のケアラーの孤立を防ぎ精神的な支えとなるコミュニティの形成ができるよう、地域のみなさまのお力をお借りしながら取り組んでまいります。この交流会が、お互い助けあえる場、支えあえる場として根付き、参加されたみなさまがほっとして帰ることのできる場となるよう、来年度も開催を予定しています。